

事業者向け

児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切あるか	<input type="radio"/>			個室がないが、集中したい時やクールダウンが必要な時は、事務所の一角を仕切ったスペースを活用している
	② 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			配置基準に基づいた職員配置を行っている
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	事業所内はバリアフリー化になっているが、2Fにあるため階段を登らないといけない。設備では、イラストを貼って視覚的にも場所がわかるようにするなどの工夫をしている
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>			広々としたスペースでゆったりと過ごせるようになっている。また、利用後と毎朝職員にて清掃・片付けを行い清潔な状態で受け入れができるように心がけている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	<input type="radio"/>			職員研修を開催し、職員が参加できる体制を整えています。
	⑥ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実地して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			8月に実地している。今後も毎年8月に実地していく予定。また、電話や送迎時にも相談や意見を聞き、業務改善につなげている。
	⑦ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			会報、ホームページで公開している
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	外部評価は行っていないが、他事業所を交えての会議等で、見習う点等は見習い、業務改善を行っている。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			毎月の研修や朝夕のミーティング等を行っている。また、事業所外での研修にも参加している。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			担当職員を決め、ニーズの分析やアセスメントの時間を十分にとるように配慮している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール使用しているか		<input type="radio"/>		事業所内では行っていないが、他の事業所や医療機関等で行った検査などを共有させてもらっている。
	⑫ 児童発達支援計画には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の(発達支援)、(家族支援)、(地域支援)で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		<input type="radio"/>		年齢や発達段階、個人の特性に応じた支援内容を心掛けてはいるが、ガイドラインに沿った視点については、まだ十分でない部分もある。ガイドラインの視点をしっかり取り入れつつ、適切な支援内容設定ができるように努めていきたい。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			計画に沿った支援ができるようにしている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			担当職員が大まかな立案をし、職員を交えての個々の細かいプログラムなどを話し合っている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	<input type="radio"/>			短期目標を細かく設定し、職員間での話し合いを強化している。また、季節を取り入れた行事や、様々な地域で開催されている催し物に積極的にさんかしている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別担当を中心に、個別課題と集団課題の両方の視点から個別支援計画を作成し、職員間で共有できるようにしている。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			始業時や活動前に申し送り・ミーティングを行い確認している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		活動後ミーティングを行い、支援の振り返りと、検討を行っている。時間が持てない場合などは翌朝の申し送りミーティング等にて行っている。
⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			支援計画の項目に基づいた記録をするように徹底し、個別担当や児童発達支援管理責任者が中心となり記録ができていないか確認をするようにしている。	

⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別担当が月間で評価を行い、児童発達支援管理責任者が3か月で中間評価、半年で終了評価、計画の見直しを行っている。
---	--------------------------------------------	---	--	----------------------------------------------------------

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者と個別担当のスタッフが同行できるようにしている。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて様々な機関と連携を取り合い、情報共有しながら支援を展開できるようにしている。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっているか	○		現在対象となる児童はいないが、必要に応じて様々な機関と連携を取り合い、情報共有しながら支援を展開できるようにしている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		現在対象となる児童はいないが、保護者との情報共有の中で主治医からの指示などを明確にした上で、連絡体制をとることができるようにしている。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		支援を行っていく中で、必要に応じて電話や訪問により相談し、助言していただいている。研修には参加できていない。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		今現在、コロナウイルス感染増加を危惧し、交流する機会を得るまでに至っておりません。
	㉘	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		現在までは参加できていないが、今後は積極的に参加していきたい。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時、電話連絡等により日頃の様子を伝えるように努めている。
保護者への説明責任等	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		子育てや自宅での対応で、相談があった場合には、助言や指導、または話し相手になり、保護者が孤立しないように対応している。
	㉛	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行い、毎月の請求時にも実費負担などがある場合には、個々に説明を行っている。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		それぞれの利用者個人の特性を踏まえながら、説明を行っているが、ガイドラインを示しながらの説明には至っていないので、これらの視点を盛り込んだ説明ができるようにしていきたい。
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		児童発達支援管理責任者や他スタッフ共に話してもらいやすい関係性作りを心掛け、支援していけるように努めている。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		児童発達支援センターやその他の相談支援事業所と連携を図り助言等をしていただいております。
	㉟	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速に対応しているか	○		対応の体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応できるようにしている。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページのブログや毎月の会報を作成して配布している。
	㊲	個人情報に十分注意しているか	○		取扱いに対する同意書を得るとともに、職員に対しても守秘義務に対する誓約書を取っている。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて、目でもわかるように紙に書いたり、パソコンで文書にまとめたりしながら、情報伝達をしています。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		現在のところ行えていないが今後検討していきたい。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを作成しており、研修などにより職員は周知できているが、保護者には周知するまでには至っていない。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に訓練を行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			利用開始の際は保護者から必ず確認している。また、日々の引継ぎの中でも最新の情報を提供してもらい、健康面、医療面について把握できるようにしている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要に応じて医師の指示に基づいた情報を保護者から確認し、職員間で情報共有を行っている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか		○		事例集は作成できていないが、どんな時に事故が起こりやすいかなどを、ミーティング時などに話し合っている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修等に取り組んでいる。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後デイサービスの計画に記載しているか	○			「身体拘束を行わない」という方針のもと、研修を行い職員の専門性の向上に取り組んでいる。